



齋藤(仲)家資料目録

太宰府市公文書館

文書群名 太宰府市宰府 齋藤（仲）家資料
年 代 江戸後期～昭和 18（1943）年
数 量 114 件（154 点）
収蔵形態 複写資料
内 容 齋藤家資料は、江戸時代後期に太宰府の町絵師として活躍した齋藤秋圃とその3男梅圃の絵画制作に関する史料を中心とした資料群で、書画11件、画稿類1253件、文書類114件、印章10件、その他の資料24件、総数1412件で構成される。このうち、文書類の調査を公文書館が担当した。

文書類には江戸期に遡ると思われる系図、秋月藩任官時代の達書、秋圃・梅圃の交友関係を示す書状類、京都旅行をした際の紀行文など、出自や履歴に今なお謎を残す秋圃の事績を解明する上で、大変貴重なものを含んでいる。後掲の報告書に図版・目録および江戸時代分を中心とした翻刻を掲載しているので、併せて参照されたい。

齋藤家資料は、平成30年4月に太宰府市指定文化財となり、その後市教育委員会に寄贈された。

関連文献

橋富博喜「齋藤家画稿について」『太宰府市の文化財第 98 集 馬場遺跡三』、太宰府市教育委員会、2008 年

橋富博喜「齋藤秋圃研究（一） 齋藤家資料について」『年報太宰府学』6、2012 年

橋富博喜「齋藤秋圃研究（二） 翻刻『京遊日記』（稿）」『年報太宰

府学』7、2013 年

朱雀信城「齋藤家の文書類」 「(三) 文書類」『太宰府市の文化財第 133 集 太宰府の絵師調査報告一 齋藤秋圃・梅圃関係資料』、太宰府市教育委員会、2018 年

朱雀信城「齋藤家の文書類」『目でみる太宰府 7 太宰府の絵師齋藤秋圃』、太宰府市教育委員会、2018 年

閲覧条件 なし

複写条件 なし

齋藤(仲)家資料目録

2021年11月現在

史料番号	史料名	年月日	作成者	宛所	内容	形態	点数	備考
1	[齋藤家系譜]	(江戸時代)			池上系図。韋行(秋圃)の子まで記す。	継紙	1	
2	[達書]	(文化2年)10月14日	宮崎織部・渡辺帯刀・吉田縫殿助・宮崎主計	吉田百大夫殿・山井長左衛門殿	葵衛(秋圃)へ申達しの御用あるにつき出殿すべき件。	一紙	1	
3	中之間達	(文化2年)10月15日			葵衛(秋圃)、先般画芸をもって召抱のところ、家業繁昌などにつき無足組に昇進、御納戸頭支配仰付けの件。	継紙 (2枚)	1	
4	覚(写)	寅(文化3年)4月12日	宮崎織部	磯藤左衛門殿・浅路信殿・山田十蔵殿・垂井求馬殿	葵衛(秋圃)へ御側勤役・1人扶持2石足高仰付けの件。	継紙 (2枚)	1	
5	[達書]	(文化3年)6月5日	磯藤左衛門・山田十蔵	葵衛(秋圃)殿	自分(秋圃)家業筋繁多に付、御番方・諸輪番等別紙書付の通り、ご免仰せ付けの件。	継紙 (2枚)	1	
6	[達書] (写)	(文化3年6月5日)	磯藤右衛門・山田十蔵	葵衛(秋圃)殿	5の写し。	罫紙	1	
7	[達書]	(文政11年)3月晦日	吉田縫殿・吉田静馬	山田十蔵殿・久野虔助殿・坂本汀殿	齋藤周甫(秋圃)・同麟太郎父子へ御用の儀相達の件。	継紙 (2枚)	1	
8	[達書]	(文政11年)4月			齋藤周甫(秋圃)、眼病につき願いの通り隠居、倅麟太郎へ家督相続、家業、これまでに通りに仰せ付けの件。	継紙 (2枚)	1	
9	[達書]	午(安政5年)2月			御供屋厄介齋藤若哉(秋圃)90歳極老につき、(子孫の者へ)孝養を尽すよう申聞すべき別紙書付を渡す件。	一紙	1	
10	[達書]	午(安政5年)2月		町奉行江	御供屋厄介齋藤若哉(秋圃)90歳極老につき、子孫の者へ孝養を尽すよう申聞すべき件。	一紙	1	
11-1	[包紙]	安政6己未春2月			(上書)「未春延寿王院筑黒田宰将公御成ニ相□節、御席書被仰付、其後表書院において又々御席書被仰付仕候時、御手から御□□拝領□□□」	一紙	1	

齋藤(仲)家資料目録

2021年11月現在

史料番号	史料名	年月日	作成者	宛所	内容	形態	点数	備考
11-2	〔書付〕 (前欠)	(安政6年2月)	(齋藤梅圃カ)		延寿王院にて黒田宰将公ほかに御目見の際、老父種々認物仕りしことほか、俳諧1首書上。	一紙	1	
12	諸国性(ママ)名録	(江戸時代)			肥前長崎をはじめとする諸国(九州内)の人名録。本文中に「弘化二年巳十月お十二月十九日迄長崎」とあり。	小横帳12丁	1	
13	〔長崎姓名録〕	(江戸時代)			長崎へ出合人・秋月御用意・本博多町・中津等人名録。大坂喜三郎の菓売り口上ほか。	小横帳16丁	1	
14-1	〔執行状〕 (写)	(安永4年6月)	渡辺右舎人綱・酒田鞆負公時・碓井荒次郎貞光・卜部六郎季武	源頼光殿、平井保昌殿	源頼光へ丹州大江山にて朝敵退治の勅命の件。	一紙	1	
14-2	〔覚〕	〔安永4年6月〕			三井寺院家霊鷲権僧近衛殿虫干しの古文書より別紙の通り写取りの件。	切紙	1	
15	〔奉納絵馬覚〕 (写)	(近代カ)			「享和二年二月吉辰」「天保三壬辰九月吉辰」「天保三壬辰九月吉辰」の絵馬の銘文写し。後者2点は「齋藤秋圃」画とする。	一紙	1	
16	神授研	(近代カ)	厓誌(仙厓)		奇石神授研(聖福寺所蔵工芸品47)の箱底墨書の写し。「神授研箱内外檀主秋月秋圃士」「文政己卯(2年)夏5月27日厓誌」などあり。	一紙	1	
17	覚	卯12月	岡崎多件	梅圃様	丑～卯年分の講掛金と利子および受取金額の覚。	継紙(2枚)	1	
18	講式証文		講取主 葵梅圃 受人 _____		金7両2分の講金受取。「辰春到掛出ス」とあり。	一紙	1	
19	家居立込覚	(江戸時代)			雨戸・板戸・障子・襖等建具枚数の書上。	折紙	1	
20	立具覚	(江戸時代)			雨戸・戸板・障子・襖等建具枚数の書上。	折紙	1	
21	〔覚〕	(江戸時代)			唐大黃・大和川芎等薬名および分量の書上。	一紙	1	

齋藤(仲)家資料目録

2021年11月現在

史料番号	史料名	年月日	作成者	宛所	内容	形態	点数	備考
22	[覚]	(江戸時代)			書画・手箱・碗物の数量書上。	一紙	1	
23	[覚]	(江戸時代) 巳ノ八			『江海風帆草』下「一ノ洲より大坂京橋迄川筋」の写し(部分)	一紙	1	
24	[覚] (前後欠)	(江戸時代)			大阪・神戸周辺名所案内。	一紙	1	
25	馬十毛 (後欠)				馬の十種の毛色の説明。芦毛・青毛部分のみ。	一紙	1	
26	[教訓書付]	(江戸時代)			「凡ソロハ缺け易きものなれハ以て自ら戒とスヘシ」ほか。	一紙	1	
27	[書状] (前欠)	(江戸時代) 正月22日	信廉	韋行 (秋圃) 様 貴下	書き置き候画送付依頼の件。	一紙	1	
28	[書状]	(江戸時代) 桃月初十日	江稼圃拝記	葵韋行 (秋圃) 先生啓	「斗煩／台駕転交」とあり。(異筆) 「又懇・台駕専交」とあり。	一紙	1	
29	[書状]	(江戸時代) 桃月12日	弟江稼圃又長	韋行 (秋圃) 先生奴手(カ)	「江泰処頓首々々舞行」とあり。	一紙4枚	1	
30	[書状] (写)	(近代)			29の写し。	一紙	1	
31	[書状] (写)	(近代)			29の写し。30の部分。振り仮名あり。	一紙	1	
32	[書状] (前欠)	(文化4年) 八朔	渡邊仙林 源 (花押)	双鳩先生 (秋圃)	堺町にて歌舞伎「彦山権現」を始めたところ、三津五郎の六助・半四郎のおその大当たりの件。	一紙	1	
33	[書状] (前欠)	(江戸時代) 正月29日	(広瀬) 月化	双鳩様 (秋圃)	御繁用中ながら一筆下されたい件。	一紙	1	
34	[書状] (前欠)	(江戸時代) 如月10日	その	双鳩先生 (秋圃)	(本文前欠のため内容不明) 礼状。追伸に茶膏等進上の件、俳諧2句を記す。	継紙 (2枚)	1	
35	[書状] (前欠)	(江戸時代) 6月22日	平治	双鳩様 (秋圃)	島吉子御隣家の画奉上の件。追伸に景清の娘人丸の塚の件を記す。	一紙	1	
36	口陳	(江戸時代) 8月5日	高順老	双鳩先生 (秋圃)	(端裏書) 「双鳩先生 高順老」、御所持の銀印拝借依頼の件。	一紙	1	
37	[書状]	(江戸時代) 3月24日	厓 (仙厓)	(2羽の鳩の絵) 様 (秋圃)	せっかく稼げる仕事が増えてきたのに双鳩の名の通り二つとも失う件。	一紙	1	

齋藤(仲)家資料目録

2021年11月現在

史料番号	史料名	年月日	作成者	宛所	内容	形態	点数	備考
38	〔書状〕 (前欠)	(文政5年カ) 閏 正月4日	佐藤忠八郎	齋藤惣左衛門 (秋圃) 様	本文欠。追而書に訪問しない 無礼の詫びなど記す。	一紙	1	
39	〔書状〕	(江戸時代) 漆月 3日	勢州権禰宜 黒 瀬主馬	太宰府御供殿 御隠居 秋圃大 人	当春田代宿で初めて会い絵を もらった件、当夏肥前大村へ 下る際急ぐため太宰府天満宮 に参詣できず残念な件。	一紙	1	
40	〔書状〕 (前欠)	(江戸時代) 文月 11日	(川越) 斯焉	秋甫(秋圃) 先 生 机下	本文欠く。末尾に俳諧3句を 記す。	継紙 (2 枚)	1	
41	〔書状〕	(江戸時代) 8月 10日	今由	秋圃様	玉画およびいにしえ人手細工 の件、上京の件。	継紙 (2 枚)	1	
42	〔書状〕	(江戸時代) 7月 17日	従四條烏丸 東 暉菴(紀広成)	齋藤秋圃様・瑞 五郎(梅圃) 様	今夕社中書画会開催の案内。	一紙	1	
43	〔書状〕	(江戸時代) 小春 25日	江芸閣(花押) 「芸／閣」(朱 文円印)	秋圃供奉青肤	我閣下妙才絵図一舎団稟權の 景への謝辞。	罫紙	1	
44	〔七言絶句〕	(江戸時代) 巳11 月朔日	江芸閣寄言「芸 閣」(朱文方 印)	翰香秋圃二長兄 笑止	「奉懷翰香秋圃」と題する漢 詩1首。	罫紙	1	
45	〔七言絶句〕	(江戸時代)	江芸閣拝稿「芸 閣」(朱文方 印)	秋圃老先生正	「一枝妙筆感靈通…」 「真箇 能開頃刻花…」 の漢詩2首。	罫紙	1	
46	〔書状〕	(江戸時代) 5月 18日認	岡本甲斐守(保 考)	齋藤茗哉(秋 圃) 様	答書遅延の御詫の件、今一度 上京のうえ面談したい件ほ か。	折紙	1	
47	〔書状〕	(江戸時代) 6月 13日	茗哉(秋圃)	おやのとの	寺主坊おちか男子出生の件、 八百太郎花火線香を喜び、お ゑみ・お冬を連れ参じたところ、 三千代と異なり態度が悪い件、 おやのへ干鱈・小遣い 等送る件。	継紙 (3枚 継)	1	
48	〔書状〕	8月24日	村田東圃	葵梅圃様 玉提 下	依頼されていた判木本日出 来、延引の詫びと受取依頼。	一紙	1	
49	〔書状〕	(江戸時代) 3月7 日	よね彦(朱印)		茶を下され、名画拝見の礼。	一紙	1	
50	〔書状〕	(江戸時代) 5月3 日	黒田犬万 長 (花押)	甲斐守様	尊書の礼。一本松四谷十番に ても安泰の旨報告。	折紙	1	

齋藤(仲)家資料目録

2021年11月現在

史料番号	史料名	年月日	作成者	宛所	内容	形態	点数	備考
51	〔書状〕	(江戸時代) 7月18	大江丸		已前書中で申された自像をその方へ下す件。	一紙	1	
52	〔書状〕 (前欠)	(江戸時代) 9月16日	久次郎		祝儀に伺わないことの無礼への詫びおよび金3両差出の件。	一紙	1	
53	〔書状〕 (前欠)	(江戸時代) 11月24日	義右衛門		26日夜琵琶をもって参ることの依頼。	一紙	1	
54	〔書状〕 (前欠)	(江戸時代) 12月15日賀			無沙汰の詫びおよび寒気見舞に鴨一羽・蕎麦切2進上の件。	一紙	1	
55	〔書状〕	(江戸時代)	彦太夫 元允 (花押)	[]	少将様貴院へお出での節の秋圍の席の件。	継紙 (2枚)	1	
56	〔書状〕 (前後欠)	(江戸時代)			川越斯焉の月見会へ来駕の案内。	一紙	1	
57	〔書状〕 (写)	(江戸時代)			「古錦繡譜」借用依頼の件、「織文図絵」をご覧に入れたい件。	一紙 (もと継紙) 3枚	1	
58	〔書状〕 (前後欠)	(江戸時代カ)			石刷拝領の件、長崎出島辺りで拾った石の進上の件、先日茶屋より帰る姿を見た件。	一紙	1	
59	手本	天保3年壬辰ノ2月吉日	(齋藤) 梅圃拝		墨書(表紙)「手本ノ梅圃拝」(巻末)「天保三年ノ壬辰ノ二月吉日ノ扇子ノ齋藤梅圃分」杜牧・馬戴・某・張志和・蘇軾の漢詩を記した手習いの手本。	折本 (16枚)	1	
60	〔七言絶句〕	(江戸時代カ)	鷓水孤庭雋		「探奇無過石玲瓏秀骨雲姿ノ画写空貞介閑堪棲作文ノ披図猶是起清風」	一紙	1	
61	〔五言絶句〕 (写)	(天保13年壬寅冬)	月仙□□ (印文なし、墨描方印二顆)		「□ (印文なし墨描長方印1顆)ノ随随便々腹是名ノ般若空一袋ノ容沙界此中福ノ莫窮ノ月仙□□ (印文なし墨描方印2顆)」(裏書)「天保十三年壬寅冬ノ葵所蔵」	一紙	1	

史料番号	史料名	年月日	作成者	宛所	内容	形態	点数	備考
62	[覚]	(江戸時代カ)			「うすからすこからすたけにせんし茶のさめぬこゝろに色も香もある のミ人しらす」の歌あり。	一紙	1	
63	[和歌] (写)	(江戸時代カ)	遠雁席上賛		「昨日まで／うなゐ／はなりと／見し子等も／ぬしつき／けりと／しろき／とも／し火」	一紙	1	
64	[和歌書上]	享(享保) 19 2月25日	兼潔上		歌題「河柳」につき数首書上。	一紙	1	
65	[和歌書上]	(江戸時代)	兼潔上		左馬権助会始、歌題「凍消池水暖」につき数首書上。	一紙	1	
66	詠香春嶽長歌二首	(江戸時代カ)	三善朝臣真麿		豊前国香春嶽に関する長歌。	一紙	1	
67	[石つくし]	(江戸時代)			京踊りの唱歌の説明とそのうちの「石つくし」の歌。	一紙(2)	1	
68	薄茶手前のはこび出し	(江戸時代カ)			薄茶点前の作法についての歌。	元横長帳綴外れ(4枚)	1	
69	[俳諧]	(江戸時代カ)	艾坡		「梅に月離れぬ春の夜比哉」	短冊	1	
70	[俳諧]	(江戸時代)	(田口) 四軒		「ミやこなる／父君にかさり給／ことのはに有之／錦とも花とも／古処の山紅葉」	短冊	1	
71	[京遊日記]	[天保5年3月15日～5月2日]	[齋藤秋圃]		齋藤秋圃・とみ(後妻)・瑞五郎(のちの梅圃)らが太宰府から京都に旅行した際の紀行文。京都上賀茂社祠官岡本家を訪れるあたりまで記す。	小横帳8丁	1	
72	[覚]	(江戸時代)			「政大夫」「中村仲蔵秀鶴といふ」など浄瑠璃に関する文章、20歳頃京都在住の頃の夢物語、豊後臼杵月桂寺の件ほか。	小横帳18丁	1	
73	[図巻奥書]				「右之一巻二十四枚以テ松花堂招乗所図写之」画題・寸法の書上。	一紙	1	
74	[奥書カ] (写)	(江戸時代カ)			人の賢さと山川の美についての文章の奥書カ。	一紙	1	

齋藤(仲)家資料目録

2021年11月現在

史料番号	史料名	年月日	作成者	宛所	内容	形態	点数	備考
75	〔讚文カ〕 (写)	〔宝永3年丙戌7月9日〕	法橋光琳		「宝永三年丙戌七月九日改通行／銀印銀座之長使即画大黒小像用之／為極印因以其図右之／法橋光琳」	一紙	1	
76	〔秋圃・梅圃略歴書上〕	(明治時代カ)			秋圃・梅圃略歴。梅圃「明治八年乙亥十月ニ卒ス／行年六十才」とあり。	一紙	1	
77	〔齋藤家系図〕	(明治時代カ)			□□(梅圃)一文山一孝□(弘)とその子まで記す。78の写し(部分)カ。	一紙	1	
78	〔齋藤家系図〕	(明治時代カ)			相常より孝弘の子に至る齋藤家の系図。	継紙 (3枚)	1	
79	齋藤家系圖謄写	(明治時代カ)			元祖経基公(中略)相常より麟太郎の子に至る齋藤家の系図。	切紙	1	
80	池上系圖	(昭和時代カ)			(内題)「池上系図」、仲俊より梅圃の子に至る齋藤家系図。	継紙 (3枚)	1	
81-1	家傳	(大正時代カ)			藤原冬基～忠宜・忠久に至る醍醐家の系図。醍醐冬基より忠重に至る履歴。	豎帳 49丁	1	
81-2	〔雑〕				黒と赤の線を全面縦横に入れる。	一紙	1	
81-3	〔覚〕				明治23年の勅諭等の写し。	継紙 (2枚)	1	
82-1	〔醍醐家家伝〕	(大正時代カ)			醍醐冬基～忠重に至る醍醐家履歴。	豎帳 48丁	1	
82-2	〔覚〕				誠仁親王～昭和天皇に至る系譜。	一紙	1	
83	岡本家系圖	昭和11年1月	保仲縣主四代孫 保寛謹書		(内題)「加茂氏 岡本家系図写」、賀茂在實～所保に至る家系を記す。昭和11年9月の齋藤孝弘の奥書あり。	一紙	1	
84	醍醐家系圖	昭和12年1月	齋藤孝弘記		兼冬～忠重の子に至る醍醐家系図、奥に昭和13年5月27日大祖一千年祭并報告祭を下関市宮田町の自宅で執行のことなど記す。	継紙 (3枚)	1	

齋藤(仲)家資料目録

2021年11月現在

史料番号	史料名	年月日	作成者	宛所	内容	形態	点数	備考
85	一條家ト醍醐家ノ続柄	昭和12年1月	齋藤孝弘記		一條家系図・醍醐家系図、醍醐・齋藤両家の関係など書上。修正あり。下書カ。	継紙 (5枚)	1	
86	[一條家ト醍醐家ノ続柄]	(昭和12年頃)			一條家系図・醍醐家系図。85の清書カ。	継紙 (5枚)	1	
87	池上家系圖	(昭和時代カ)			(内題)「池上家系図」、仲俊～仲道の子に至る齋藤家系図。	継紙 (5枚)	1	
88	[少弐氏系図] (前後欠)	(昭和時代カ)			少弐氏本宗家(経資～政資)と経資の弟盛資(盛資～資重)の系図。	継紙 (5枚)	1	
89	[覚]	(昭和時代カ)			一条氏の出自・系譜を記す。裏書あり、ヨメズ。	便箋1枚	1	
90	[人名書上]	(近代)			熊本県宇土郡不知火村山田芦州以下4名の住所・人名・年齢の書上。	一紙	1	
91	[人名書上]	(近代)			太宰府参詣のため止宿の宗像郡神湊村永島兵吉以下9名、住所・人名・年齢の書上。	野紙	1	
92	入学願(写)	明治24年4月29日	齋藤孝之助		斯成校入学願書の写し。全面に文字の練習跡あり。	野紙	1	
93-0	[封筒]	(消印)「京都/10.5.19/后0-4」	水月庵 京都市 四条通大宮西入 志水宗日拜	下関市宮田町 齋藤孝弘様	裏面に「櫻巷堂製」の印あり。	封筒	1	
93-1	[書簡] (前欠)	(昭和10年)5月 18日朝	貞良	志水宗匠殿	醍醐忠貞は賀陽宮大妃殿下の兄で事情により洛北西加茂に隠棲、20年程前少老上賀茂に寓居の時、謡曲の関係でよく訪問、忠順と忠貞は別人かあるいは親族か不明。	継紙 (2枚)	1	
94-1	[書簡]	昭和11年1月12日朝	岡本保寛拜	齋藤孝弘様 御 奥様 玉案下	過日來訪時欠礼の宥恕を願う件、貴殿の御祖先と故甲斐守との関係調査に感激した件、兼ねて約束の拙家系図写(83)を別便にて送付の件。	継紙 (4枚)	1	
94-2	[封筒]	1月12日、(消印)「聖護院/11.1.12/后0-4」	京都市左京区下 鴨膳部町101 岡 本保寛	下関市宮田町 齋藤孝弘様		封筒	1	

齋藤(仲)家資料目録

2021年11月現在

史料番号	史料名	年月日	作成者	宛所	内容	形態	点数	備考
95-0	〔封筒〕	拾1年12月28日、 (消印)「京都上 京/□.12.28/后 4-8」	京都上京区西賀 茂 川上町 醍 醐家別邸新倉米	下関市宮田町 齋藤孝弘様		封筒	1	
95-1	〔書簡〕	12月28日	米(新倉米)	齋藤(孝弘)様	東京来訪時はまず醍醐家訪問 のこと、村林・高津両氏は両 名共元醍醐家諸大夫であるこ と、醍醐忠重氏の人物像、醍 醐邸・醍醐忠直氏・大妃殿下 屋敷・宮様御殿の住所のこと ほか。	便箋2 枚	1	
96-1-1	〔目録〕	昭和12年6月27日	賀陽宮附宮内事 務官宮野安	齋藤孝弘殿	御品料金拾五円献上品の礼と して下賜の件。	一紙	1	
96-1-2	〔封筒〕	(消印)「麴町九 段二/12.6.28/ 前8-12」	賀陽宮附 宮内 事務官宮野安	下関市宮田町 齋藤孝弘殿	封筒表に「書留」の朱印あ り。	封筒	1	
96-2-1	〔受領書〕	昭和13年7月日	賀陽宮附	齋藤孝弘殿	御肴料金拾円、亀甲煎餅2缶 を孝弘が送るに付き受領。本	一紙	1	
96-2-2	〔封筒〕	(消印)「麴□ (町) /13.7.20 /后0-4」	東京市麴町区3番 町2番地ノ5 賀 陽宮附	下関市宮田町 齋藤孝弘殿		封筒	1	
96-3-1	〔書簡〕	(昭和13年)12月 3日	賀陽宮御別邸 詰員	齋藤孝弘殿	先般の貴地産珍菊、今般の品 物献上に付き披露の報告。	継紙 (2 枚)	1	
96-3-2	〔封筒〕	(消印)「□□/ 13.12.4/□0- □」	東京市麴町区紀 尾井町 賀陽宮 御別邸詰員	下関市宮田町 齋藤孝弘殿		封筒	1	
96-4-1	〔書簡〕	昭和14年4月16日	京都 賀陽宮随 員	齋藤孝弘殿	当宮先殿下三十年祭への献具 受納の報告。「賀陽宮」の罫 紙に記す。	罫紙	1	
96-4-2	〔封筒〕	昭和14年4月16 日、(消印)「上 京/14.4.16/后 4-8」	京都にて 賀陽 宮附	下関市宮田町 齋藤孝弘殿	差出人の住所は「姫路市山ノ 井280」を抹消して記す。	封筒	1	
96-5-1	〔書簡〕	昭和14年4月28日	賀陽宮附 宮内 事務官勝田圭通	甲斐守様	故邦憲王30年祭お供えの礼と して御蒸物料金5000疋下賜の 件。	一紙	1	
96-5-2	〔封筒〕	(消印)「麴町九 段二/14.4.2□/ 后0-□」	賀陽宮附 宮内 事務官勝田圭通	下関市宮田町	封筒表面に「書留」印あり	封筒	1	
96-6-1	〔書簡〕	5月23日	賀陽宮附	齋藤孝弘殿	貴地名産亀甲煎餅および若芽 献上披露の報告。	一紙	1	

齋藤(仲)家資料目録

2021年11月現在

史料番号	史料名	年月日	作成者	宛所	内容	形態	点数	備考
96-6-2	〔封筒〕	(消印)「麴町／ 14. 5. 23／后4-8」	東京市麴町区3番 町2	下関市宮田町 齋藤孝弘		封筒	1	
96-7-1	〔書簡〕	8月29日	鶴殿親子代筆	齋藤孝弘様	4月に送られた亀の甲せんべい いとわかめ、および南禅寺行 乗物料10円送付の礼、醍醐侯 爵地中海滞在、11月帰国予 定、過日送られた名産淡雪の 礼ほか。	一紙	1	
96-7-2	〔封筒〕	8月29日、(消 印)「吹田／ 12. 8. 29／后4-8」	京都市上京区西 加茂川上町醍醐 家別邸 鶴殿親 子 代筆	下関市宮田町 齋藤孝弘様		封筒	1	
96-8-1	〔書簡〕	昭和15年4月24日	賀陽宮附	齋藤孝弘殿	齋藤氏の1月以来病気のため 九大医院にて療養の件につき 言上し見舞いのため菓子料 2000疋拝領の報告。	一紙	1	
96-8-2	〔封筒〕				(表書)「御菓子料」	封筒	1	
96-8-3	〔封筒〕	(消印)「麴町九 段二／15. 4. 24／ 后0-4」	賀陽宮附 東京 市麴町区3番町2 番地	福岡市堅粕九州 帝国大学附属医 院 金子内科3階 5号室 齋藤孝弘 殿	「書留」印あり。	封筒	1	
97-0	〔封筒〕	8月17日、(消 印)「門口(司) ／□. 8. 17／后4- 8」	東京市目黒区衾 町1502 醍醐家 村林勝二	門司下関市宮田 町 齋藤孝弘様		封筒	1	
97-1	〔書簡〕	昭和12年8月17日	醍醐家／村林勝 二	齋藤孝弘様	上様へ御地名産菓子1折贈呈 の旨披露の件、小生へ菓子贈 与の礼。	継紙 (2 枚)	1	
98-0	〔封筒〕	昭和13年4月1日、 (消印)「西陣／ 13. 4. 2／前0-8」	京都市上京区上 御霊鳥居前北入 小栗栖元熙	下関市宮田町 齋藤孝弘殿		封筒	1	
98-1	〔書簡〕	9月22日	小栗栖元熙	齋藤孝弘様 玉 案下	小栗栖家系図写しを差し上げ る件、今春以来社務并家事多 忙にて延引の詫び。	継紙 (2 枚)	1	
98-2	〔書簡〕	4月1日	小栗栖元熙	齋藤孝弘殿玉机 下	御令息今回京大経済学部入学 の祝いの件、鯛みそ漬恵贈の 礼。	継紙 (2 枚)	1	
99-1-1	〔書簡〕	(昭和) 13年6月 15日	鶴殿御後室様 代筆百瀬	齋藤孝弘殿 御 侍史	先祖祭・報告祭執行のお祝い の件、頂いた品物の礼ほか。	継紙 (4 枚)	1	

齋藤(仲)家資料目録

2021年11月現在

史料番号	史料名	年月日	作成者	宛所	内容	形態	点数	備考
99-1-2	〔封筒〕	6月15日、(消印)「□□/□.6.16/前0-8」	神戸市須磨区潮見台町2丁目藤田内 鶴殿御後室様 代筆百瀬	下関市宮田町 齋藤孝弘殿 御侍史		封筒	1	
99-2-1	〔書簡〕	5月28日	鶴殿家勝	齋藤孝弘殿 同令夫人 御机下	尊家先祖捨丸殿は藤原冬熙殿次男の件、先祖報告祭に母の代理として自身出席し歓待を受けたことへの礼、記念品の礼ほか。	継紙(2枚)	1	
99-2-2	〔封筒〕	5月28日、(消印)「吹田/13.5.29/□8-12」	大阪市外吹田泉町 鶴殿家勝	下関市宮田町参九拾ノ二 齋藤孝弘殿 御直披		封筒	1	
99-3-1	〔書簡〕	昭和13年8月2日	醍醐家 村林勝二	齋藤孝弘殿	(齋藤家の) 御先祖祭・御報告祭無事済んだことへのお祝い、諸品恵与の礼および大妃殿下・侯爵への硯送付の披露ほか。	継紙(2枚)	1	
99-3-2	〔封筒〕	8月2日、(消印)「目黒/13.8.2/□0-4」	東京市目黒区衾町1502 醍醐家村林勝二	下関市東南部町 齋藤孝弘殿		封筒	1	
100-0	〔封筒〕	12月18日、(消印)「□□/13.12.19/前0-8」	神戸市須磨区潮見台町2丁目 藤田方 鶴殿様 代筆	下関市宮田町 齋藤孝弘様		封筒	1	
100-1	〔書簡〕	12月18日	鶴殿御後室様 代筆	齋藤孝弘様	孝俊様東京に住む由報知の件、年内春へかけて須磨滞在の件、上京の節はこちらへ立寄ってほしい件。	継紙(3枚)	1	
101-0	〔封筒〕	(消印)「麹町/15.5.22/后4-8」	東京市麹町区紀尾井町 賀陽宮御別邸 鶴殿親子	下関市宮田町 齋藤孝弘様		封筒	1	
101-1	〔書簡〕	5月22日	鶴殿親子代筆	齋藤孝弘様	先般送付の煎餅の礼、大宮より拝領の野菜・菓子送付の件、体調伺いの件。	一紙	1	
102-0	〔封筒〕	9月15日、(消印)「福井/15.9.16/后0-4」	福井市宝永町官舎 岡本正一	下関市宮田町 齋藤孝弘様 侍史		封筒	1	
102-1	〔書簡〕	9月15日	岡本正一	齋藤孝弘様 座右	御医岡本伊寛の法要につき連絡の件。	便箋2枚	1	

齋藤(仲)家資料目録

2021年11月現在

史料番号	史料名	年月日	作成者	宛所	内容	形態	点数	備考
103-0	〔封筒〕	10月24日、消印 「目黒／□ 5. 10. 24／后4- □」	東京市目黒区衾 町1502、醍醐家 執事	下関市宮田町390 齋藤孝弘様		封筒	1	
103-1	〔書簡〕	(昭和15年) 10月 24日	醍醐家 村林勝 二	齋藤孝弘様	今週来病氣静養の見舞いの 件、昨日送付の御地名産菓子 1折披露の件。	継紙 (2 枚)	1	
104-0	〔封筒〕	(消印) 「小石川 ／16. 4. 10／后4- 8」	東京市小石川区 高田老松町58 醍醐忠直	下関市宮田町390 齋藤孝弘様		封筒	1	
104-1	〔書簡〕	4月9日	醍醐忠直	齋藤孝弘様 親 展	先般須磨・京都にて世話に なったこと、京都で撮影した 写真はすでに鶴殿輝子氏より 送られたと聞いたので、令息 分として送ること、令息就職 につき上京の際の宿を尋ねる こと、恵与いただいた若芽漬 の礼など。	便箋2 枚	1	
105-0	〔封筒〕	(消印) 「小石川 ／16. 9. 9／□□ - 12」	東京市小石川区 高田老松町 醍 醐忠直	下関市宮田町 齋藤孝弘様 侍 史		封筒	1	
105-1	〔書簡〕	昭和16年9月29日	醍醐忠直	齋藤孝弘様	恵与いただいた銘菓淡雪の 礼。	便箋1 枚	1	
106-0	〔封筒〕		賀陽宮附 宮内 事務官金万小三 郎	齋藤孝弘殿		封筒	1	
106-1	〔送り状〕	昭和18年6月日	賀陽宮附 宮内 事務官金万小三 郎	齋藤孝弘殿	羊羹進上の件。	一紙	1	
107-0	〔封筒〕	(消印) 「赤阪／ 44. 12. 29／后4- 8」	東京 乃木希典	長門国長府町 毛利子爵家 御令扶御中		封筒	1	
107-1	〔書簡〕	12月29日	乃木希典	長府 毛利子爵 家 御令扶御中	下賜品および歳末の礼。	継紙 (2 枚)	1	
108	〔書簡〕	(昭和時代) 12月 10日	榎木鉄治	藤老養 尊下	齋藤氏復族願については鑑定 を待つ、願書に左記項目(齋 藤周囲以降の系図、壬申戸籍 より現在に至る戸籍謄本ほ か) 必要の件。	罫紙2 枚、 紙縫 り綴 じ	1	

齋藤(仲)家資料目録

2021年11月現在

史料番号	史料名	年月日	作成者	宛所	内容	形態	点数	備考
109	[封筒]				(表書)「醍醐家三代様御手蹟 鶴殿御後室様より頂戴」	封筒	1	
110	[七言絶句]	(近代カ)	宮虎拝題		亦／驚秋此夕相逢／風流客那讓当／年蘇子遊／宮虎拝題」(裏書)「直虎書」	一紙	1	
111	[俳諧] (写)	(近代)	無相書□□(印文なし墨描方印2顆)		「つきゆきに／くは□たふ／山のつゑと／かさ 無相書」了蓮寺十七世無相の俳諧の写し。下部に無相(1700-1763、江戸時代の学僧、音韻学者)の履歴を記す。	一紙	1	
112	[五字書]		葵朔拝具		「白露／玉階／光」「葵朔＝朔治(梅圃息)カ。	一紙	1	
113	[絵]				「文化九年大月」とあり。木版刷りカ。	葉書	1	
114	[白紙]				文字記載なし。	一紙	1	